



# 令和8年度 兵庫県立あわじ特別支援学校グランドデザイン

兵庫県特別支援教育第四次推進計画  
特別支援教育における今後の推進方策

I 連続性のある多様な学びの場における教育の充実(縦の連携)

~すべての学校園で取組みつなぐ特別支援教育~

II 連携による切れ目ない一貫した相談・支援体制の充実(横の連携)

~早期から卒業後へ支えつなぐ特別支援教育~

## 教育方針

児童生徒一人一人の希望を大切にしながら、個々のニーズに応じた教育的支援を行い、自立や社会参加に必要な能力の伸長に努める。また、特別支援学校のセンター的機能を充実させ、特別支援教育の理解・啓発を推進する。

## (校訓) 希望 自立

## 教育目標

### (1) 交流及び共同学習の一層の充実

- ①校内の交流(仲よくなるう会)
- ②高等学校との交流(高等部)
- ③居住地校交流等(小中学部)

### (2) 一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実

- ①各教科 ②自立活動
- ③生徒指導 ④人権教育
- ⑤健康管理に関する指導(保健・給食・安全指導)

### (3) ICTの利活用等による特別支援教育の質の向上

### (4) 自立と社会参加の実現に向けたキャリア教育の充実

- ①技能検定
- ②関係機関との連携
- ③就労支援

### (5) 教職員の学びの継続による専門性の向上

- ①校内研修
- ②校外研修
- ③外部人材を活用した研修

### (6) 教育環境整備の推進

## 縦の連携

(1) 幼稚部 聴覚障害部門  
遊びを通して、情緒の安定や心身の調和的発達をめざし、豊かな言語生活のために基礎的指導を行う。

(2) 小学部  
①聴覚障害部門  
体験的な学習を通して基礎学力を身につけるとともに、ことばへの興味・関心を高め、一人一人に合ったコミュニケーション能力の発達を促す。

②知的障害部門  
いろいろな経験を通して興味・関心を広げるとともに、基本的な生活習慣及び主体的なコミュニケーション能力を育てる。

(3) 中学部  
①聴覚障害部門  
自主性や社会性を伸ばし、基礎学力とコミュニケーション能力を高めるとともに、将来の自立をめざして基本的な生活習慣及び社会への適応能力を育てる。

②知的障害部門  
自主性や社会性を伸ばし、基礎学力を高めるとともに、将来の自立をめざして基本的な生活習慣及び社会への適応能力を育てる。

(4) 高等部 知的障害部門  
近い将来の社会参加に向けて、基礎学力・基礎体力・社会への適応能力の向上を図るとともに、社会人として自立しようとする意欲及び社会性を養う。

## R8 研究テーマ

児童・生徒の主体性を引き出す授業づくり  
~交流あふれるあわじ特~

## 学校経営の重点

ライフワーク

フット・チーム・ネットワーク

- (1) 児童生徒の特性を理解した対応や支援を行うことで、居心地の良い環境や集団作りを行いながら、いのちと人権を大切にする学校づくりを進める。
- (2) 児童生徒の自立と社会参加を目指す中で、実態把握に基づく根拠のある指導・支援を行いながら、児童生徒や保護者が成長を実感できる学校づくりを進める。
- (3) 特別支援学校のセンター的機能を果たしながら、保護者・地域・各関係機関と連携し、組織的な対応ができる学校づくりを進める。
- (4) 教職員が専門性を高め指導力を発揮できるよう、研修や授業研究等を行うとともに、心身ともに健康で、働きがいのある学校づくりを進める。

## 横の連携

- (1) 関係機関との連携
  - ①学校園等教育機関【教育相談(知的・聴覚)、高校通級等】
  - ②淡路地区ネットワーク会議 ③保健・福祉機関 ④医療機関
  - ⑤労働機関 ⑥地域住民(町内会・みどり会)
- (2) 共生社会の実現に向けた特別支援教育に関する理解啓発
  - ①オープンスクール ②体験入学 ③ホームページやブログ